

① RC 造の建物にはどんな特徴がありますか？

RC 造の建物は「型枠」に生コンクリートを流し込み、壁や柱、床、天井などを形づくることで建設されます。お菓子の型に材料を入れて色々な形を作るように、この型枠次第で様々な形に成型できるので、材料が直線的な木造や鉄骨造と異なり、曲線や斜線を多用したデザインも可能です。

また壁に強度を持たせることで、たくさんの柱や梁で支える必要がなく、建物内部に吹抜けなどの大空間や大開口部を設けたり、1 階部分をピロティにして駐車スペースとして使用することも可能で、設計の自由度が高いと言えます。

このため RC 造は、一般的に使われることの多いマンションやビル以外にも、競技場や美術館などの集客施設や戸建住宅など、特徴あるデザインの建物を作りたい時にも採用されています。

加えて、木造や鉄骨造など他の材料でつくった建物に比べて、地震、火災、台風、水害などの災害に強く、長寿命であるなど、安全・安心に住めるという利点もあります。近年、地球温暖化などの影響で、自然災害が激甚化していますが、これらに対する備えとして、戸建て住宅にも RC 造を採用することは有効です。

